

# ヤマ 炭鉱の記憶で

## 地域づくり

学び・話し・見る

Big Pit National Coal Museum(UK/Wales)

2009年10月

空知支庁の  
セミナーに  
合わせて



NPOでも  
いろいろ  
やります!



明日の光明を灯し  
誇りを持って進む

その手がかりとしての  
炭鉱の記憶

参加費無料

主催: 空知支庁

17日(土) 14:00~18:00 地域づくりセミナー  
岩見沢市コミュニティプラザ

報告 そらち産炭地域活性化戦略の取り組み 吉岡宏高さん(札幌国際大学准教授)  
基調講演 近代化産業遺産を生かした観光まちづくり 西村幸夫さん(東京大学大学院教授)  
講演 産業遺産に対する関心の変化 岡田昌彰さん(近畿大学准教授)  
講演 市民でもこれだけできる 三膳時子さん(NPO霧多布湿原トラスト理事長)

参加費 ¥5,000

主催: NPO炭鉱の記憶推進事業団

17日(土) 18:30~20:30 懇親会  
割烹酔月

炭鉱全盛期の名残をとどめる老舗割烹「酔月」で参加者の皆さんと親密に交流できます

参加費無料

主催: NPO炭鉱の記憶推進事業団

18日(日) 09:30~12:00 実践者による円卓会議  
岩見沢市コミュニティプラザ

一般の方も自由に聴講頂けますので、お気軽にご参加下さい

参加費 ¥2,000

主催: NPO炭鉱の記憶推進事業団

18日(日) 12:00~17:30 現地見学会  
岩見沢→美唄→三笠→岩見沢

参加費=昼食代・現地ガイド料、定員40名限定、一般の方も自由にご参加頂けます  
アルテピアッツァびばい(昼食)、奔別立坑、幌内炭鉱景観公園+布引アート Project

お申し込み  
お問い合わせ



特定非営利  
活動法人

ヤマ  
炭鉱の記憶推進事業団

<http://www.soratan.com/>

そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター ☎0126-24-9901

岩見沢市1条西4丁目 10:00~18:00/火曜休



Photo: 斉藤靖則さん (元北炭幌内鉱員)

石炭産業なき後の空知産炭地域は、経済・社会的に日本で最も厳しい状況におかれています。これまで、「過去の暗い歴史を消す」ことによって、地域の再生を目指してきましたが、大きな流れに抗うことはできないまま、今日に至っています。

しかし、世の中は大きく変わりつつあります。地域の歴史的な文脈に根ざした、内外の人が相互に助け合う新たな地域づくりが、全国各地で取り組まれ、成果を挙げつつあります。

空知産炭地域には、100年にわたり黙々と地中から石炭を掘り出すことによって、北海道の開拓と日本の発展を支えてきた誇りがあります。高齢化・人口減少・財政という苦境は、日本の未来を先取りした姿であり、多くの人々に様々な示唆を与えます。

このような好機を生かすために…手がかりとなるのは、足もとにある炭鉱の記憶と遺産。原動力となるのは、地域の皆さんの価値観の転換です。

今回、空知支庁が「炭鉱の記憶で地域づくりセミナー」を開催するにあたって、NPO法人炭鉱の記憶推進事業団では、様々な運動企画をご用意しました。

学び・話し・見るという多面的なプログラムにより、空知産炭地域が明日に向かうための光明を灯し、誇りを持って進むための、一歩となることを期待しています。

セミナー講師



●基調講演  
近代化産業遺産を生かした観光まちづくり  
西村幸夫さん

(東京大学大学院工学系研究科 教授)  
1952年、福岡市生まれ。東京大学都市工学科卒、同大学院修了。明治大学助手、東京大学助教授を経て、1996年より東京大学教授。この間アジア工科大学助教授(バンコク)、MIT客員研究員、コロンビア大学客員研究員、フランス国立社会科学高等研究院客員教授などを歴任。

専門は都市計画、都市保全計画、都市景観計画、市民主体のまちづくり論など。工学博士。  
世界遺産記念物会議(ICOMOS)前副会長、文化審議会専門委員、同世界遺産特別委員会委員など公職多数。

●報告  
そらち産炭地域活性化戦略の取り組み  
吉岡宏高さん(札幌国際大学観光学部 准教授) …1963年生まれ三笠市(北炭幌内鉱)出身、NPO法人炭鉱の記憶推進事業団理事長

●講演  
産業遺産に対する関心の変化  
岡田昌彰さん(近畿大学理工学部 准教授) …1967年生まれ日立市出身、テクノスケープ(鉱工業景観)研究の第一人者

市民でもこれだけできる  
三膳時子さん(NPO法人霧多布湿原トラスト 理事長) …浜中町生まれ、市民で湿原を買い保全活用するナショナルトラストを展開しており、今年春には新たに50万坪の土地を1,200万円で取得(全額寄付で調達)

懇親会



大正3年創業の老舗割烹。現在の建物は、昭和8年に建設されたものです。周辺の炭鉱が全盛だった頃には、炭鉱の幹部職員の宴会で大いに盛り上がりました。その名残を残す産業遺産でもあります。

円卓会議

道内外や空知産炭地域で、実際に産業遺産や地域資源をもとに活動を展開している実践者が一同に会します。活動を展開する上での課題や、取り組みの成果など、実務者レベルでの話し合いを行います。一般の方も聴講可能で、後半では時間が許す限り、円卓会議出席者と聴講者との間で、意見交換ができればと考えています。

見学会ルート



▲アルテピアッツァびばい(昼食とりめし)



▲住友弁別立坑(幾春別)



▲幌内炭鉱景観公園

閉山から20年、山奥に眠る布引立坑  
空前絶後の大公開  
**幌内布引**  
アートプロジェクト



**9月20日~11月3日**  
土・日・祝日のみ公開  
11:00 12:00 13:00 14:00 15:00  
1日5回の限定で  
特設ビジターセンターを出発